

➤ 乳腺外科

診療ガイドラインに準拠した治療を施行しており、個々の乳がんの性質に合わせ、手術、術前・術後薬物療法（ホルモン療法、化学療法、分子標的薬）、放射線療法を行っています。術前薬物療法を行った場合は、手術標本にて腫瘍残存の有無を確認し、術後薬物療法を考慮しています（レスポンスガイド治療）。術前診断にて腋窩リンパ節転移のない早期乳癌には縮小手術としてセンチネルリンパ節生検術を適応しています。

手術は、温存術については根治性と整容性を追求したオンコプラスチックサージャリー（Oncoplastic breastconserving surgery:OPBCS）を行っています。乳房再建については2020年夏に体制を整え、形成外科医師と連携しながら希望症例に実施できるようにいたしました。

薬物療法は、原則外来にて行い、副作用が出現した場合には入院加療も含めた対応を適宜行っています。

転移再発乳癌に対しての薬物療法、放射線療法等も原則外来で行っておりますが、病状に合わせて入院加療も行っています。治療に際して、ご本人・ご家族と十分に相談しながら、QOLを考慮し個人個人に合わせた適切な治療を関係部署と連携をとりチーム医療を行っています。

◆手術症例の概要 手術内訳 2024年1月1日～12月31日

疾患名	症例数
乳癌手術(乳房再建を含む)	60
良性腫瘍手術・その他	22
計	82

◆ 主疾患治療

◆ プロトコール

主疾患治療プロトコール（クリニカルパスによる術後入院期間）

乳癌手術	乳房部分切除かつセンチネルリンパ節生検術	術後 3-5 日間
	乳房切除(乳頭乳輪/皮膚温存乳房切除かつ組織拡張器留置)	
	かつセンチネルリンパ節生検術	術後 5-7 日間
	乳房切除又は部分切除かつリンパ節郭清を伴う手術	術後 7-10 日間

◆その他

資格を有する当院の施設基準：日本乳癌学会専門医制度認定施設

乳房再建用エキスパンダー実施施設

遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設